

令和7年度 第1回 浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議（書面開催）

通知日：令和7年6月18日

1. 開催趣旨

浦和美園～岩槻地域成長・発展プランのこれまでの経緯、令和6年度の実績及び実践方策へのフィードバック、地下鉄7号線延伸事業の取組状況、地下鉄7号線中間駅周辺まちづくり事業の取組状況、鉄道延伸による結節点としての岩槻駅周辺のまちのあり方の検討について、委員に対し報告し、意見を求めるもの。

2. 資料

- ・開催通知
- ・意見シート
- ・会議資料
- ・委員名簿

3. 開催結果

議事について、意見シートにより照会を実施した結果、特段意見なし

令和7年6月18日

浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議
委員各位

浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議
座長 清水 勇人

「令和7年度第1回浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議」の書面開催について（通知）

日頃より、浦和美園～岩槻地域成長・発展に向けた取組の推進に御協力いただきありがとうございます。

さて、浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議について、書面により開催いたしますので、下記のとおり意見シートの提出に御協力下さいますようお願いいたします。

記

1 日 時 令和7年6月18日（水）

2 内 容

- (1) 成長・発展プランのこれまでの経緯
- (2) 令和6年度の実績及び実践方策へのフィードバック
- (3) 地下鉄7号線延伸事業の取組状況について
- (4) 地下鉄7号線中間駅周辺まちづくり事業の取組状況について
- (5) 鉄道延伸による結節点としての岩槻駅周辺のまちのあり方の検討について

3 意見シートの提出について

会議資料を御確認いただき、別紙の意見シートにより御意見の提出をお願いいたします。意見シートは、令和7年6月27日（金）までに、事務局宛にメールで提出をお願いいたします。

4 その他

御意見の有無や内容など書面開催の結果については、会議資料と併せて市ホームページで公開を予定しております。

【事務局】

浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議 事務局
都市戦略本部 未来都市推進部 高木・塩澤

電話：829-1871 内線：2182

E-mail: mirai-toshi-suishin@city.saitama.lg.jp

都市戦略本部 未来都市推進部
未来都市共創担当 宛

「令和7年度第1回浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議」書面開催意見シート

回答局・区等名：	
担当者所属名：	担当者氏名：
意見記入欄：御意見等を以下に入力をお願いいたします。	
※御意見等が無い場合は、「意見なし」と入力をお願いいたします。	

※令和7年6月27日（金）までに都市戦略本部未来都市推進部へ電子メールにて御回答をお願いいたします。

【事務局】

浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議 事務局
都市戦略本部 未来都市推進部 高木・塩澤

電話：829-1871 内線：2182

E-mail: mirai-toshi-suishin@city.saitama.lg.jp

令和7年度 第1回浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議

次第

日時: 令和7年6月18日(水)
(書面による開催)

1. 開 会

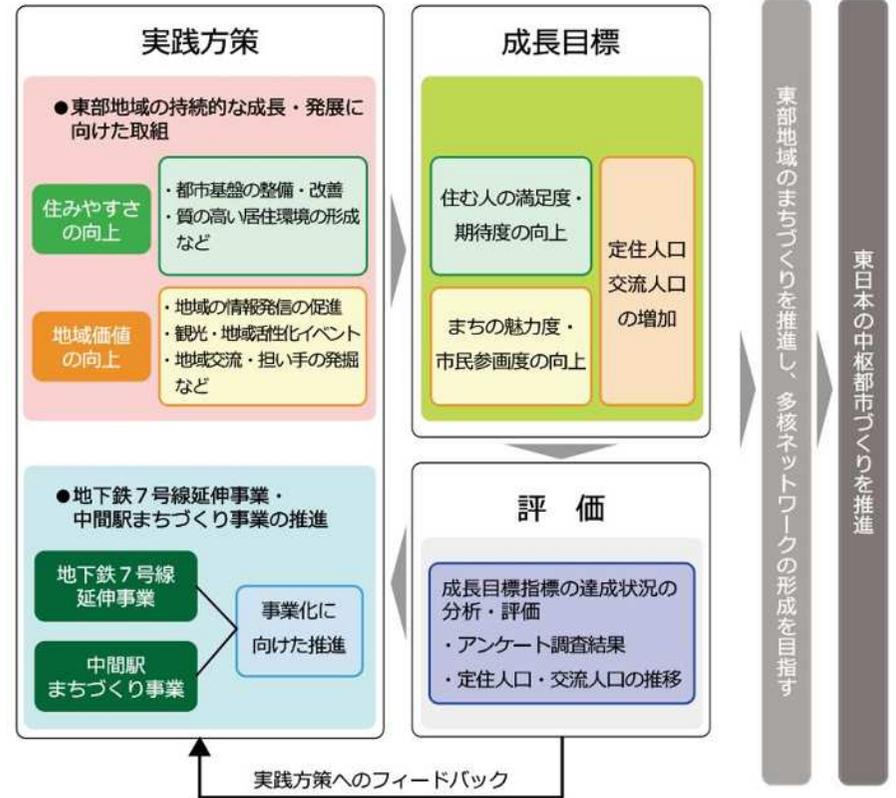
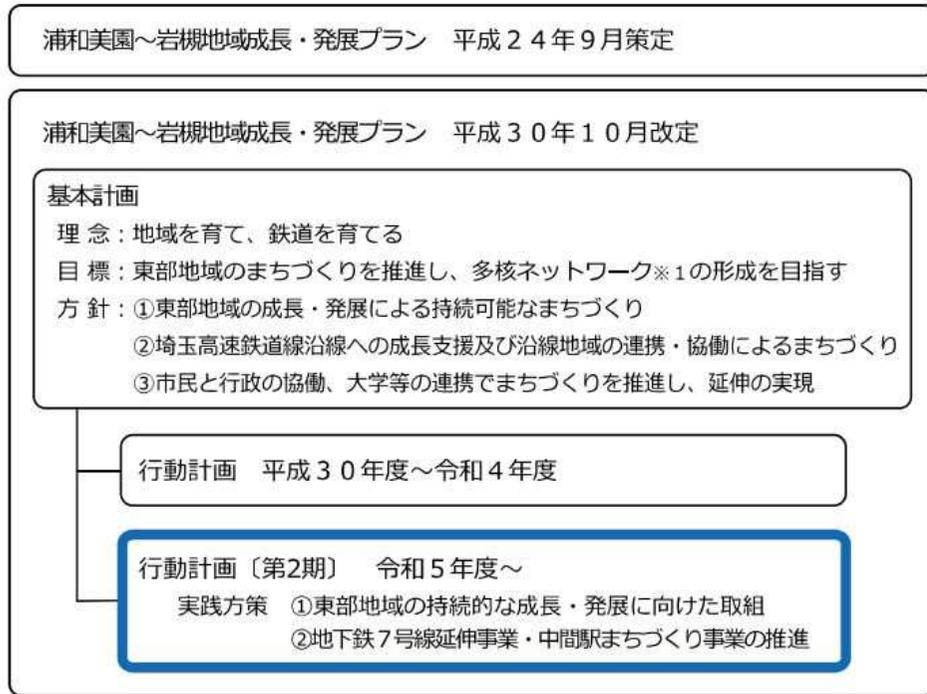
2. 議 事

- (1) 成長・発展プランのこれまでの経緯
- (2) 令和6年度の実績及び実践方策へのフィードバック
- (3) 地下鉄7号線延伸事業の取組状況について
- (4) 地下鉄7号線中間駅周辺まちづくり事業の取組状況について
- (5) 鉄道延伸による結節点としての岩槻駅周辺のまちのあり方の検討について

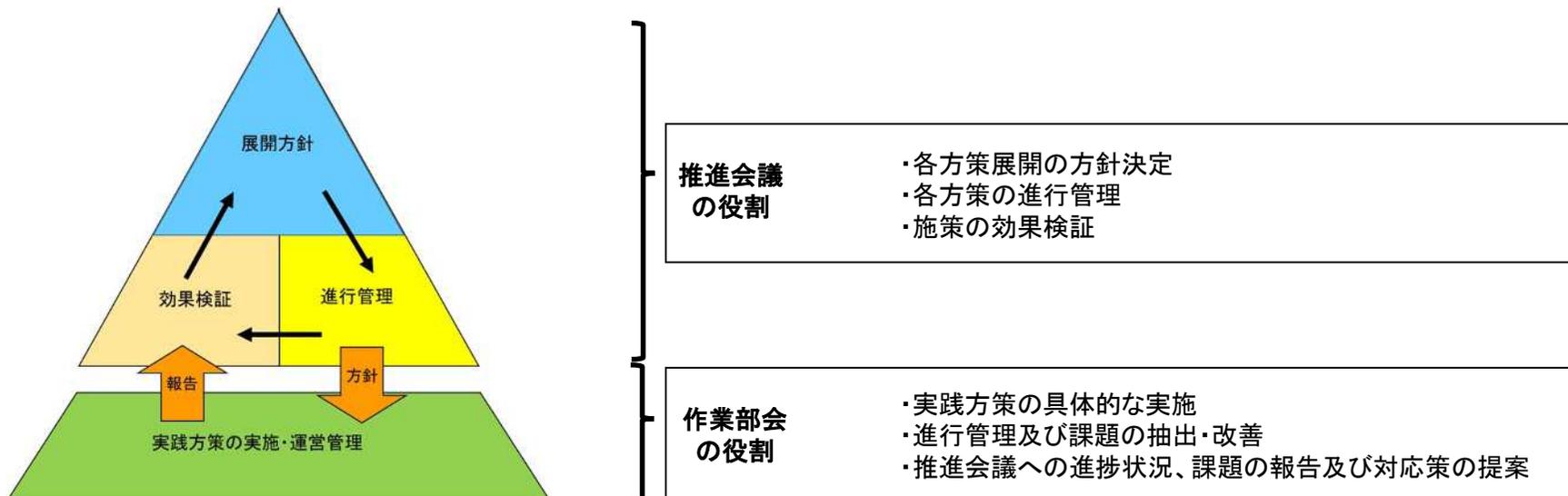
3. 閉 会

(1) 成長・発展プランのこれまでの経緯

■ 経緯及び計画体系



■ 進行管理と推進体制



(1) 成長・発展プランのこれまでの経緯

浦

4. 東部地域の持続的な成長・発展に向けた各地区の実践方策と具 体的事業

浦和美園駅周辺地区

「まちづくりの方向性」 スポーツ、健康、環境・エネルギーを テーマにした新しいまちの創造

まちづくりの先駆者として、環境・エネルギーをはじめとした多様な取組や効果を市全体に波及させることを目指し、持続性と発展性を見据えた戦略的な成長コントロールに取り組みます。

住みやすさの向上と地域価値の向上の2つを軸に、各地区ごとに具体的事業を設定。

住みやすさの向上

都市基盤の整備

- ・地下鉄7号線延伸事業の推進
- ・土地区画整理事業の推進（市施行）
- ・土地区画整理事業の推進（組合施行）
- ・公園・緑地の整備



スマートホーム・コミュニティ

質の高い居住環境の形成

- ・自転車ネットワーク整備計画の推進
- ・シェアサイクルの利用促進及びエリア拡大
- ・〈公民+学〉連携によるまちづくりの推進
- ・病院等の整備計画（埼玉県）への協力
- ・認可保育所等の整備の検討



公共空間等利活用実験
(UDCMi ホームページから)



地域密着型マルシェ「みそのいち」
(UDCMi ホームページから)



地域価値の向上

地域の情報発信の促進

- ・地域の魅力情報発信
- ・観光 PR 事業
- ・企業立地の促進
- ・地場産農産物の流通・消費拡大



ウェブサイトによる情報発信

地域活性化イベント

- ・埼玉高速鉄道(株)と連携した沿線の魅力発信やイベントの実施
- ・さいたまスポーツコミッションへの支援による地域スポーツの機会創出
- ・ランニングイベントの開催



ランニングイベント
(美園人ホームページから)

地域交流・担い手の発掘

- ・参加と協働によるまちづくりの推進
- ・コミュニティ施設等の利便性向上

(1) 成長・発展プランのこれまでの経緯

岩

4. 東部地域の持続的な成長・発展に向けた各地区の実践方策と具体的事業

岩槻駅周辺地区

「まちづくりの方向性」

城下町や人形のまちとして、歴史・文化が息づく、ふれあいとおもてなしのまちの創出

城下町の風情や人形などの地域資源を活かし、新たな付加価値を創出し、ふれあいとおもてなしによって、まちの魅力に磨きをかけます。また、これからのまちづくりの担い手を育成します。

住みやすさの向上と地域価値の向上の2つを軸に、各地区ごとに具体的事業を設定。

住みやすさの向上

都市基盤の整備・改善

- ・地下鉄7号延伸事業の推進
- ・土地区画整理事業の推進（市施行）
- ・土地区画整理事業の推進（組合施行）
- ・公園・緑地の整備
- ・鉄道延伸による結節点としての岩槻駅周辺地区の都市基盤のあり方の検討



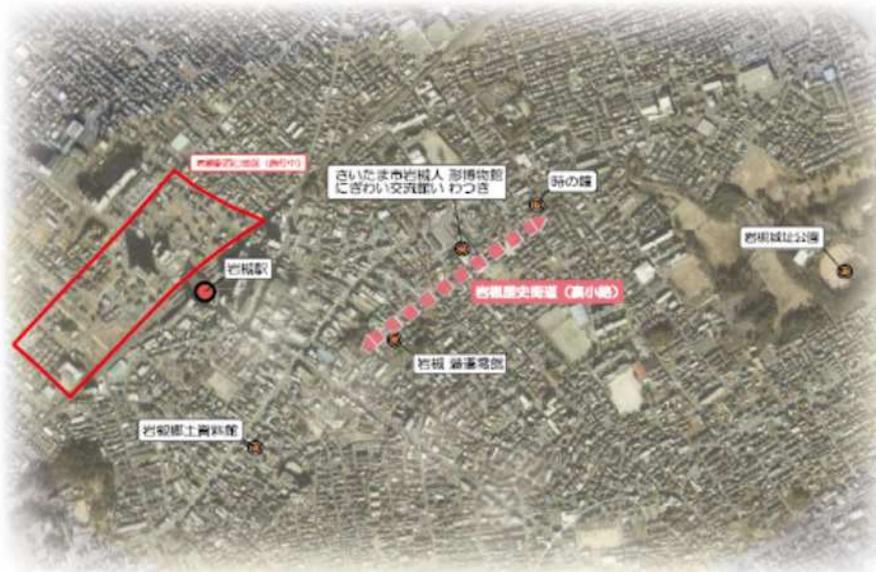
仲町りんどう公園

質の高い居住環境の形成

- ・自転車ネットワーク整備計画の推進
- ・シェアサイクルの利用促進及びエリア拡大
- ・身近な公共交通の充実



公共空間でのマルシェイベント



地域交流・担い手の発掘

- ・地域の事業者と連携した商業活性化の取組の推進
- ・リノベーションまちづくりの推進
- ・参加と協働によるまちづくりの推進
- ・コミュニティ施設等の利便性向上



リノベーションまちづくりによる事業化

地域価値の向上

地域資源を活用した魅力や賑わいの創出

- ・岩槻歴史街道事業
- ・ウォーカブルなまちづくりに向けた取組
- ・岩槻人形博物館を拠点とした人形文化の振興・発信



岩槻人形博物館

地域の情報発信の促進

- ・地域の魅力情報発信
- ・観光PR事業
- ・企業立地の促進
- ・にぎわい交流館いわつぎの活用

観光・地域活性化イベント

- ・五節句イベントの開催とPR
- ・地域観光資源の活用
- ・ウォーキングイベントの開催（岩槻区）



人形のまち岩槻まつり

(1) 成長・発展プランのこれまでの経緯

中

4. 東部地域の持続的な成長・発展に向けた各地区の実践方策と具体的事業

中間駅周辺地区・その他東部地域

「まちづくりの方向性」

自然と共存し、地域資源を活用したまちの創造

現行の地域資源を最大限に活用するため新たな創造力をもって施策を展開し、鉄道延伸及び中間駅設置にあわせたまちづくりを戦略的に創造します。

住みやすさの向上と地域価値の向上の2つを軸に、各地区ごとに具体的事業を設定。

住みやすさの向上

都市基盤の整備

- ・地下鉄7号線延伸事業の推進
- ・中間駅まちづくり事業の推進
- ・核都市広域幹線道路の延伸の推進



中間駅周辺まちづくりワークショップ

質の高い居住環境の形成

- ・自転車ネットワーク整備計画の推進
- ・身近な公共交通の充実



中間駅周辺まちづくりのウォーカブル空間イメージ



中間駅周辺まちづくりの地区の将来イメージ



地域交流・担い手の発掘

- ・目白大学の公開講座の開催
- ・参加と協働によるまちづくりの推進



目白大学の公開講座
(目白大学ホームページから)

地域価値の向上

地域の情報発信の促進

- ・地域の魅力情報発信
- ・観光PR事業
- ・見沼田圃の活用・情報発信
- ・企業立地の促進



見沼・さざ山交流広場



見沼たんぼフォトコンテスト

観光・地域活性化イベント

- ・さいたまーチ～見沼ソーデーウォーク～
- ・ウォーキングイベントの開催(見沼区)



さいたまーチ
～見沼ソーデーウォーク～

(1) 成長・発展プランのこれまでの経緯

鉄

5. 地下鉄7号線延伸・中間駅まちづくりの実践方策と具体的事業 地下鉄7号線延伸事業の推進

地下鉄7号線の延伸により東京都心部・さいたま市中心部へのアクセス性が高まり、交通ネットワークが充実されます。これにより速達性の向上や利便性の向上による東部地域の成長・発展は飛躍的に推進するとともに、沿線地域への新たな都市機能の立地促進、周辺地域からの来訪者の増加など、さいたま市全域に波及効果が期待されます。



- 延伸の効果 1 -**
- 東京圏の鉄道ネットワーク強化
 - 東武アーバンパークラインへ結節
 - 安定した鉄道輸送サービス提供
 - ・ 都心部への速達性の向上
 - ・ 乗換減少による利便性の向上
 - ・ 鉄道空白（不便）地域の解消
 - ・ 既存の鉄道路線の混雑緩和
 - ・ 高齢者の移動手段（公共交通）の確保

- 延伸の効果 2 -**
- 災害時等の代替路線機能の充実
 - 多様な代替ルートによるリスク回避
 - ・ 通勤、通学の平行路線遅延時の代替
 - ・ 延伸線沿線の埼玉スタジアム、各種公共施設と連携した災害時のリスク対応

中間駅まちづくり事業の推進

中間駅周辺地区は、鉄道沿線の浦和美園・岩槻地区と連携しながら、豊かな自然環境を活かし、多様なライフスタイルを尊重することで、人々がつながり、ウェルビーイングを実現できるまちの形成を図ります。

■ まちづくりのテーマと方針

<p>テーマ1 ニューノーマルに相応しい、多様性に対応した居住環境を実現するまち</p> <p>方針① 在宅ワークなどフレキシブルワークに対応したゆとりある住環境を創出します。</p> <p>方針② 多様なライフスタイルに合わせた生活の質の豊かさ（QOL）の向上を目指します。</p>	<p>テーマ2 暮らしのオープンスペースにより、人々がつながるまち</p> <p>方針① スマートな交通結節と居心地のよいオープンスペースによるウォーカブルを推進します。</p> <p>方針② 公園などの豊富な自然を活かした滞在できる空間により、人々のつながりと地域活力を創出します。</p>
<p>テーマ3 自然と最先端技術が融合した持続可能なまち</p> <p>方針① SDGs・ゼロカーボン実現に向けた建築・情報・エネルギーシステムを導入します。</p> <p>方針② 産業公民の連携による、地域と人の健康維持など社会課題に取り組みます。</p> <p>方針③ 先端技術を活かした安全に暮らせるまちづくりを推進します。</p>	<p>テーマ4 地域内外のつながりにより成長し続けるまち</p> <p>方針① 各種機能を共有することにより、さいたま市全域への波及効果を目指します。</p> <p>方針② 浦和美園、岩槻との連携と地域特色を活かした持続成長を目指します。</p> <p>方針③ 中間駅周辺地域との連携を強化し、まちづくり方針の実現に向けた富学公民による地域マネジメントに取り組みます。</p>

■ 土地利用配置方針と基盤整備イメージ



※この図は、まちづくりを推進するための基盤整備を想定したものであり、詳細として決定しているものではありません。

(2) 令和6年度の実績及び実践方策へのフィードバック

■ 令和6年度の実績

① 実践方策の達成状況

(件数)

実践方策の達成状況	令和5年度			令和6年度		
	種別		全体	種別		全体
	住みやすさの向上に係る方策	地域価値の向上に係る方策		住みやすさの向上に係る方策	地域価値の向上に係る方策	
目標を上回って達成	3	6	9	5	6	11
目標をおおむね達成	14	15	29	10	14	24
目標を未達成	1	1	2	3	2	5
合計	18	22	40	18	22	40

住みやすさの向上
に係る方策
18事業中
約83%が目標を達成

地域価値の向上
に係る方策
22事業中
約91%が目標を達成

達成状況の評価の基準

- 目標を上回って達成: 達成率110%以上
- 目標をおおむね達成: 達成率90%~110%未満
- 目標を未達成: 達成率90%未満

全体
40事業中約88%が目標を達成

(2) 令和6年度の実績及び実践方策へのフィードバック

■ 令和6年度の実績(各地区の主な取組状況)

【浦和美園駅周辺地区】

◎公園緑地の整備



(仮称)岩槻南部新和西地区近隣公園等におけるPark-PFI

◎〈公民+学〉連携によるまちづくりの推進



地域密着型マルシェ「みそのいち」

◎地域スポーツの機会創出



さいたまマラソン in 埼スタ

【岩槻駅周辺地区】

◎岩槻歴史街道事業



裏小路の整備の推進

◎リノベーションまちづくりの推進



創業希望者の育成講座等の実施

◎地域の魅力情報の発信



岩槻駅周辺地区の観光情報誌「#iwatsuki」の更新

【中間駅周辺地区】

◎中間駅まちづくり事業の推進



まちづくりワークショップの実施

◎地域・活性化イベント



さいたまマーチ～見沼ソーデーウォーク～

◎見沼田圃の活用・情報発信



見沼秋フェス2024 in さぎ山

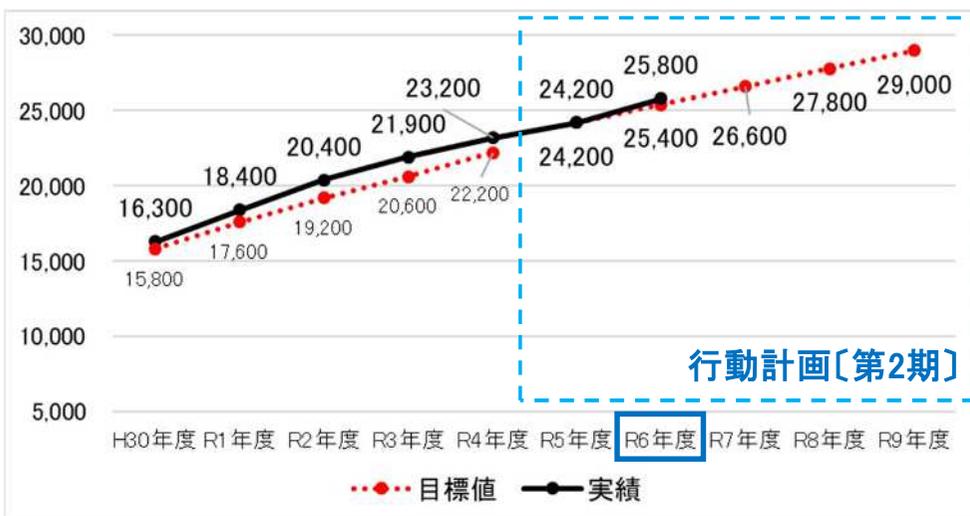
(2) 令和6年度の実績及び実践方策へのフィードバック

令和6年度の実績

②成長目標(定住人口・交流人口)に対する達成状況

【定住人口】

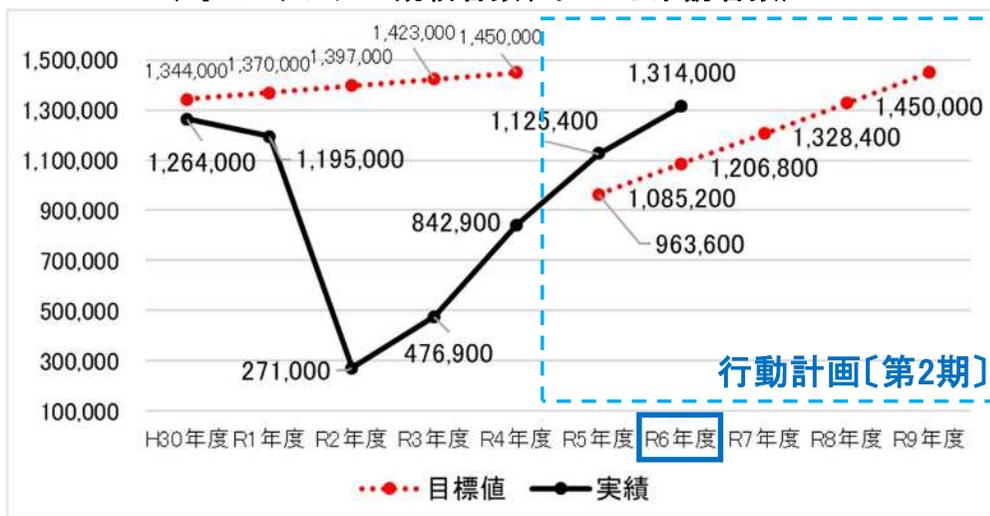
浦和美園駅周辺地区



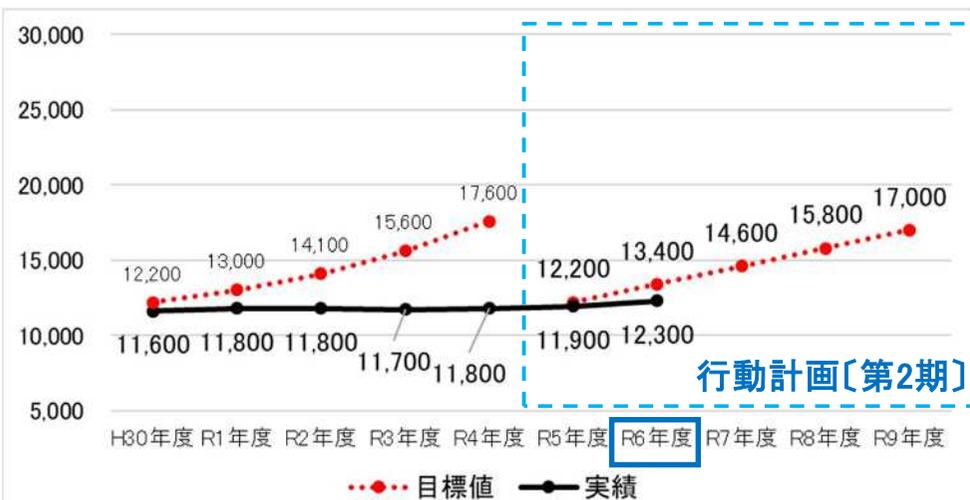
【交流人口】

浦和美園駅周辺地区

(埼玉スタジアム観戦者数、イベント来訪者数)

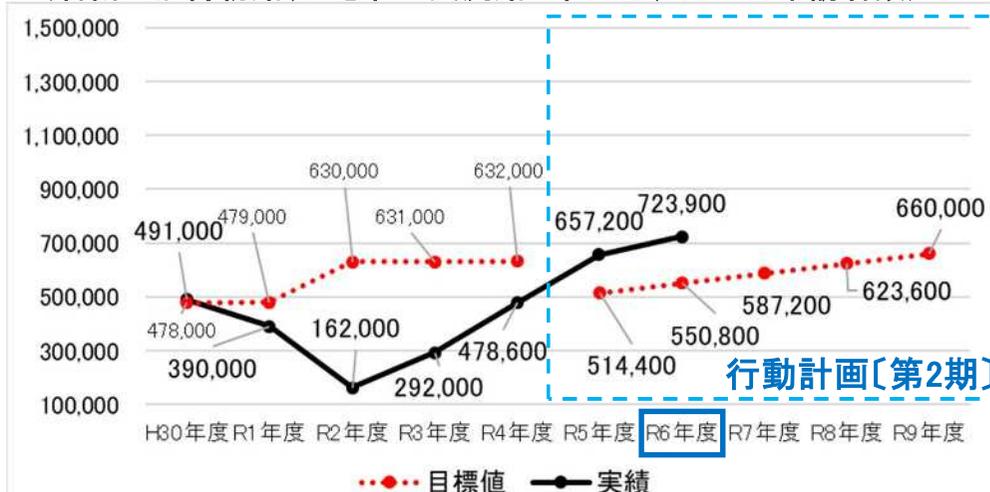


岩槻駅周辺地区



岩槻駅周辺地区

(岩槻人形博物館、にぎわい交流館いわつき、イベント来訪者数)



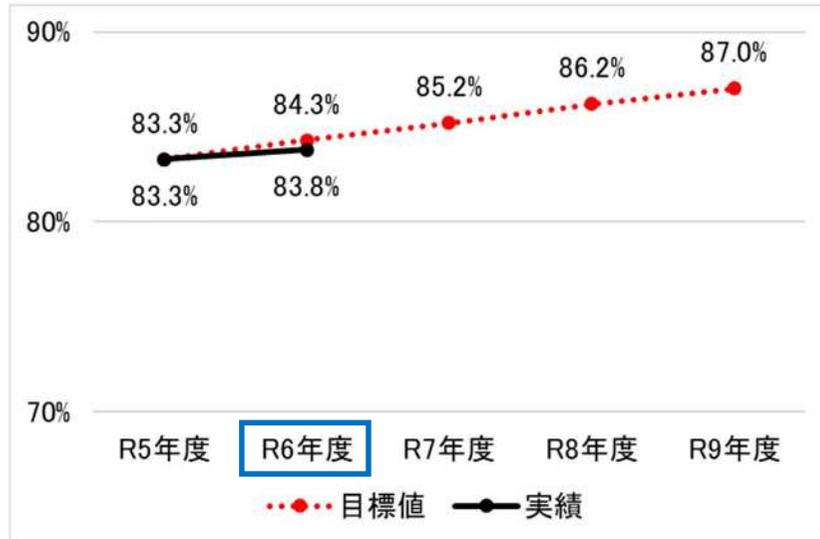
(2) 令和6年度の実績及び実践方策へのフィードバック

■ 令和6年度の実績

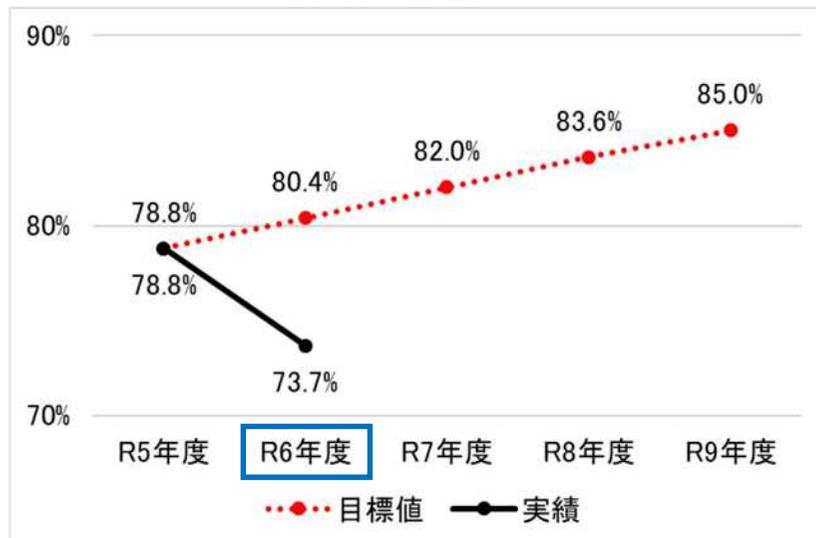
② 成長目標(住む人の満足度・期待度、まちの魅力度・市民参画度)に対する達成状況

【住みやすいと感じる割合】

浦和美園駅周辺地区

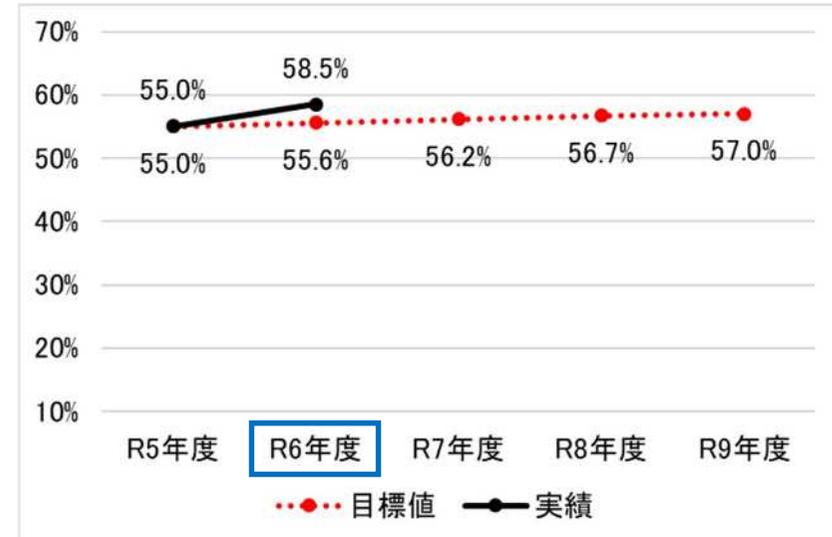


岩槻駅周辺地区

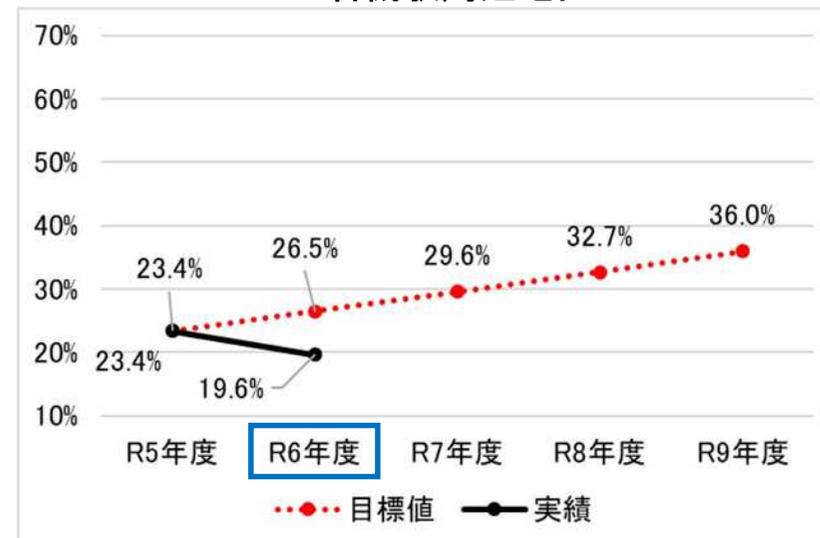


【賑わい・活気があると感じる割合】

浦和美園駅周辺地区



岩槻駅周辺地区



(2) 令和6年度の実績及び実践方策へのフィードバック

令和6年度の実績

③住民意識アンケート調査結果

調査概要

浦和美園～岩槻地域の成長と発展に資する事業の実施につなげるために、岩槻駅と浦和美園駅から、それぞれ概ね半径1kmの範囲の地域にお住まいの18歳以上の方を対象に、両地域から無作為に1,000名ずつ抽出し住民意識アンケートを実施。

実施状況

回答期間 令和6年11月18日～令和6年12月25日

回答人数

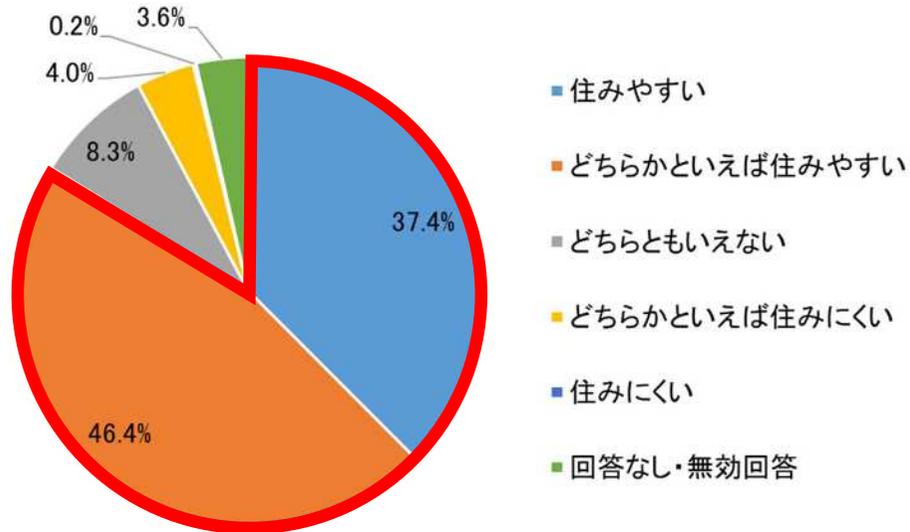
浦和美園駅周辺 470名

岩槻駅周辺 377名

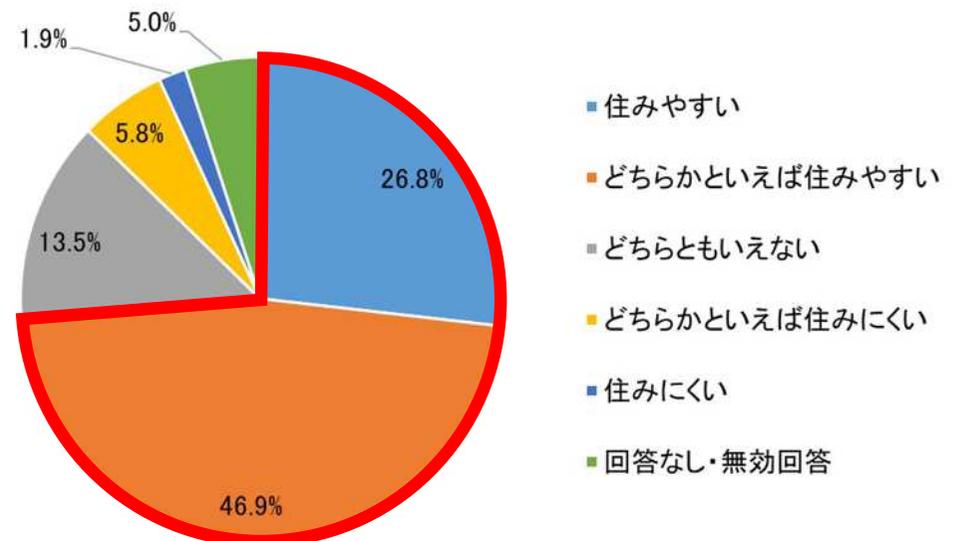
住みやすいと感じる割合

《あなたがお住まいの「地域」の住みやすさについて、どのように感じていますか。》

浦和美園駅周辺地区 83.8%



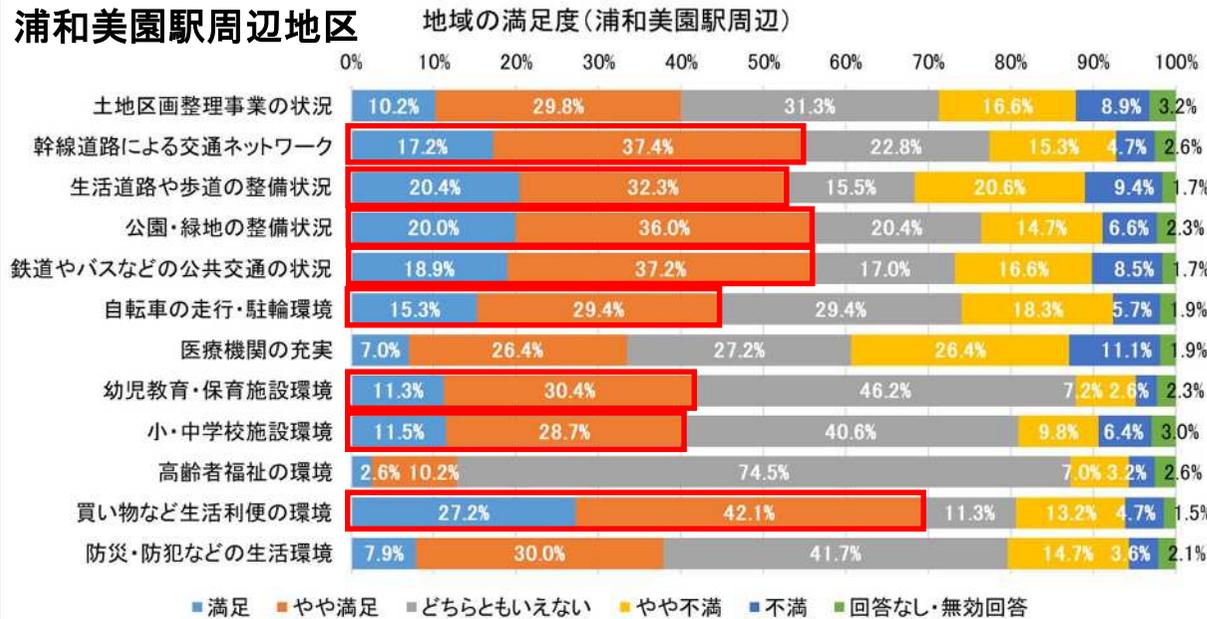
岩槻駅周辺地区 73.7%



(2) 令和6年度の実績及び実践方策へのフィードバック

③住民意識アンケート調査結果

住みやすさについて 《お住まいの地域の以下の項目に対し、どの程度満足していますか。》



浦和美園駅周辺

●都市基盤

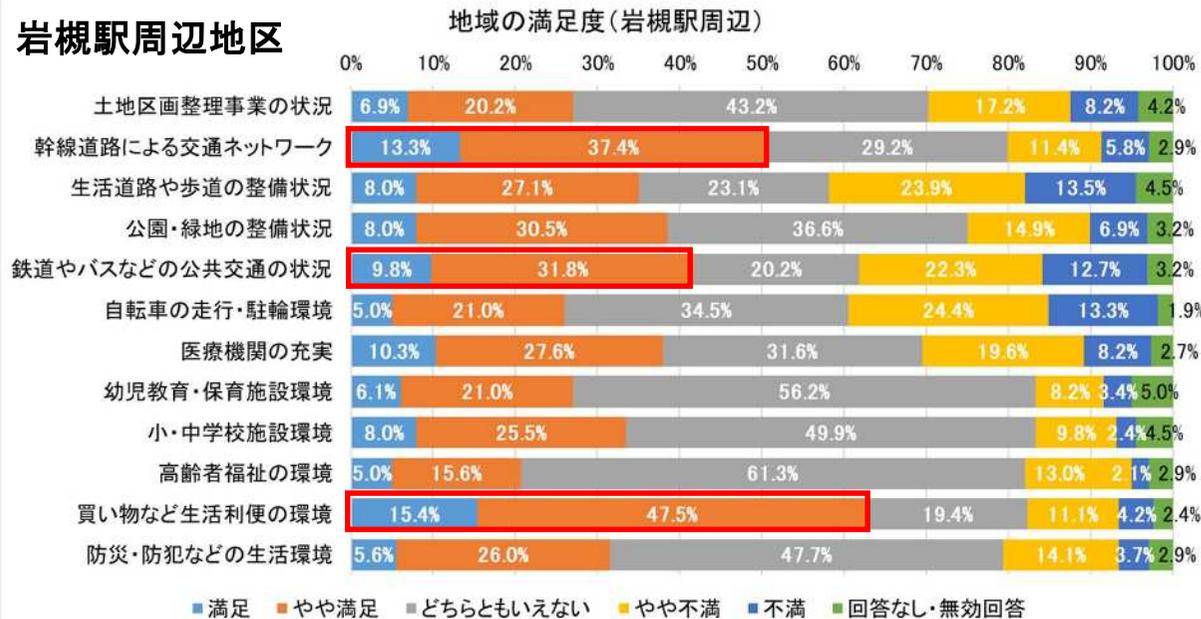
○満足度が高い項目

- ・幹線道路による交通ネットワーク(54.7%)
- ・生活道路や歩道の整備状況(52.8%)
- ・公園・緑地の整備状況(56.0%)

●居住環境

○満足度が高い項目

- ・鉄道やバスなどの公共交通(56.2%)
- ・自転車の走行・駐輪環境(44.7%)
- ・幼児教育・保育施設環境(41.7%)
- ・小・中学校施設環境(40.2%)
- ・買い物など生活利便の環境(69.4%)



岩槻駅周辺

●都市基盤

○満足度が高い項目

- ・幹線道路による交通ネットワーク(50.7%)

●居住環境

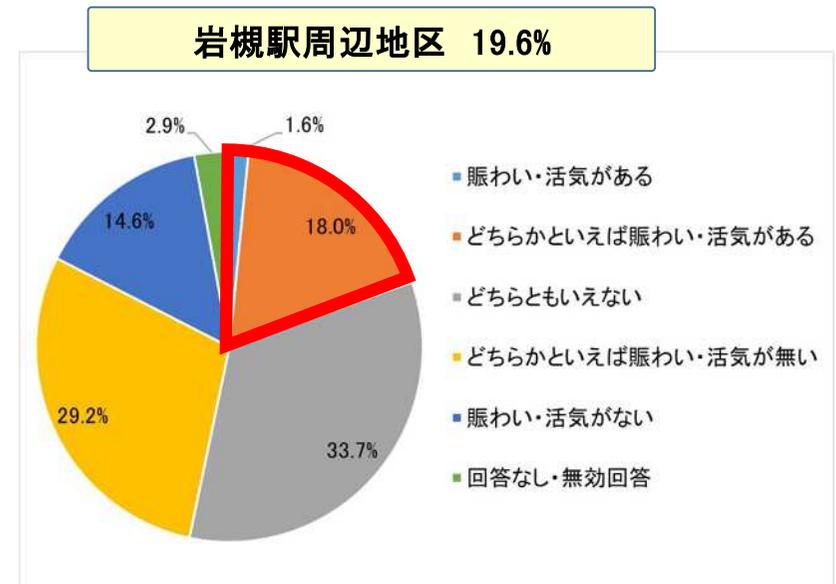
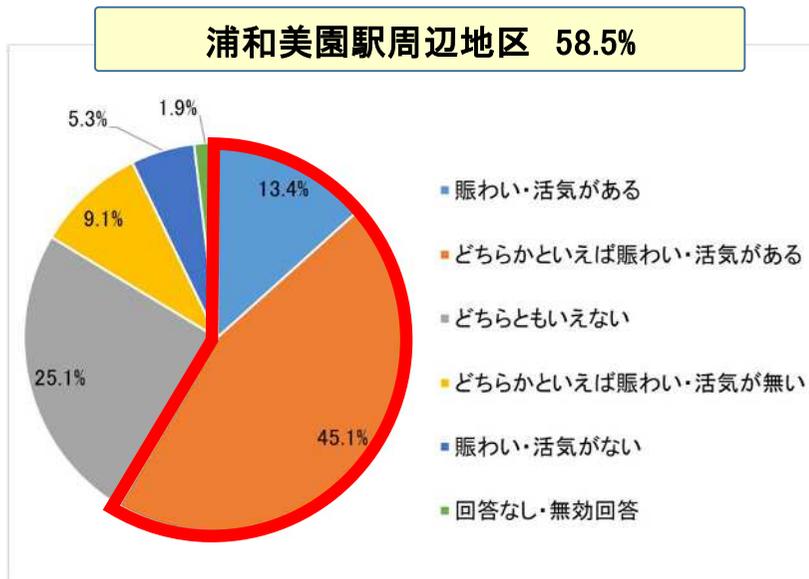
○満足度が高い項目

- ・鉄道やバスなどの公共交通(41.6%)
- ・買い物など生活利便の環境(62.9%)

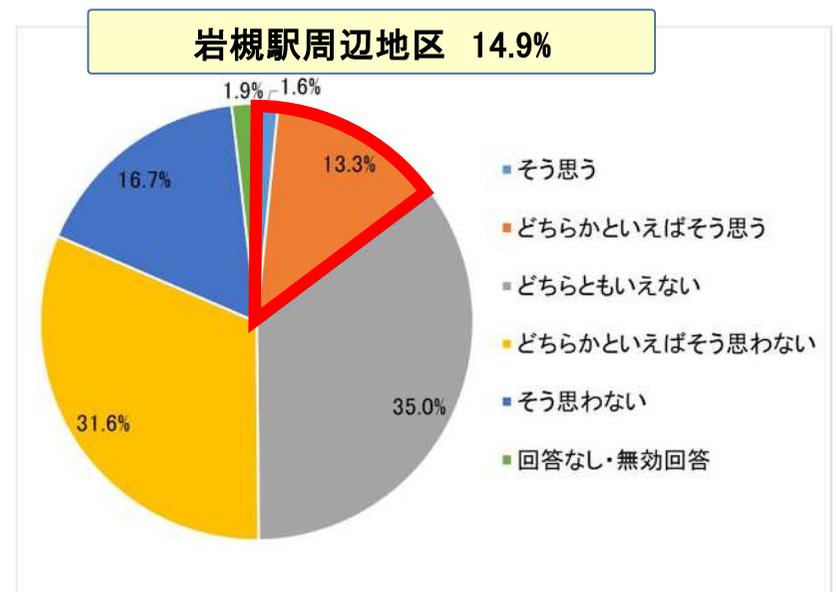
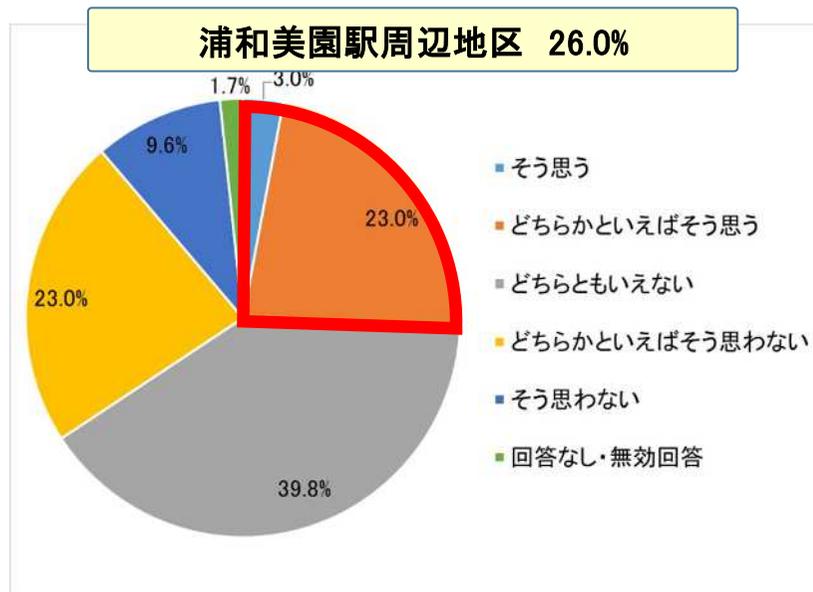
(2) 令和6年度の実績及び実践方策へのフィードバック

③ 住民意識アンケート調査結果

賑わい・活気があると感じる割合 《あなたがお住まいの地域の賑わい・活気について、どのように感じていますか。》



地域の魅力のPRについて 《お住いの地域の魅力について、十分にPRされていると感じますか。》



(2) 令和6年度の実績及び実践方策へのフィードバック

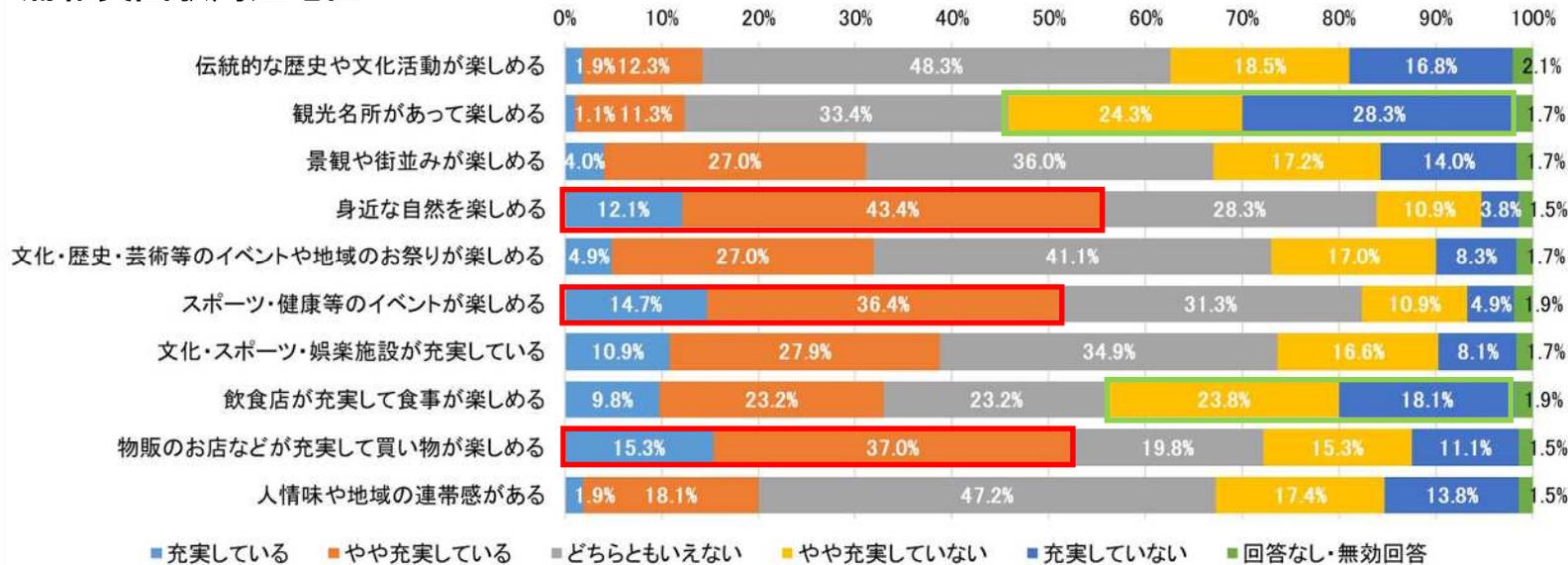
③ 住民意識アンケート調査結果

地域の魅力について

《お住まいの地域の魅力に関する以下の項目について、どの程度充実していると感じていますか。》

浦和美園駅周辺地区

地域の魅力度(浦和美園駅周辺)



浦和美園駅周辺

○ 充実度が高い項目

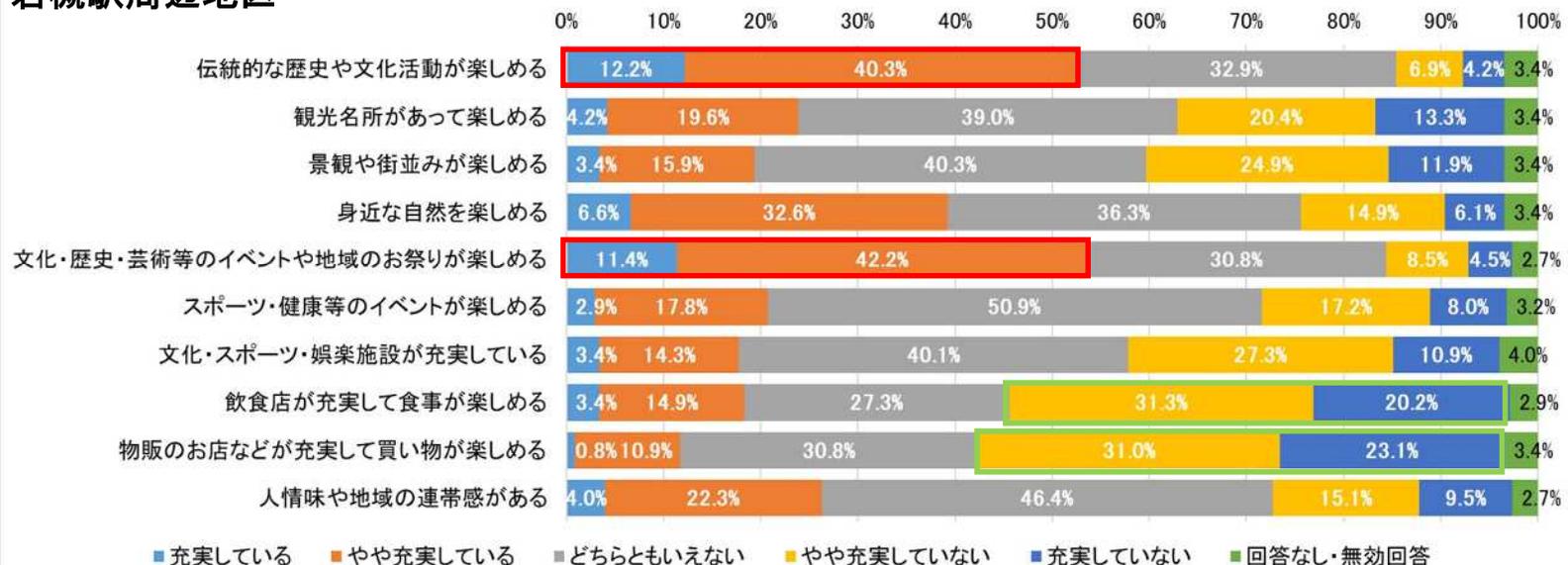
- ・身近な自然を楽しめる (55.5%)
- ・スポーツ健康等のイベント (51.1%)
- ・物販の店などの充実度 (52.3%)

○ 充実度が低い項目

- ・観光名所 (52.6%)
- ・飲食店の充実度 (41.9%)

岩槻駅周辺地区

地域の魅力度(岩槻駅周辺)



岩槻駅周辺

○ 充実度が高い項目

- ・伝統的な歴史や文化活動 (52.5%)
- ・文化イベントや地域の祭り (53.6%)

○ 充実度が低い項目

- ・飲食店の充実度 (51.5%)
- ・物販の店などの充実度 (54.1%)

(2) 令和6年度の実績及び実践方策へのフィードバック

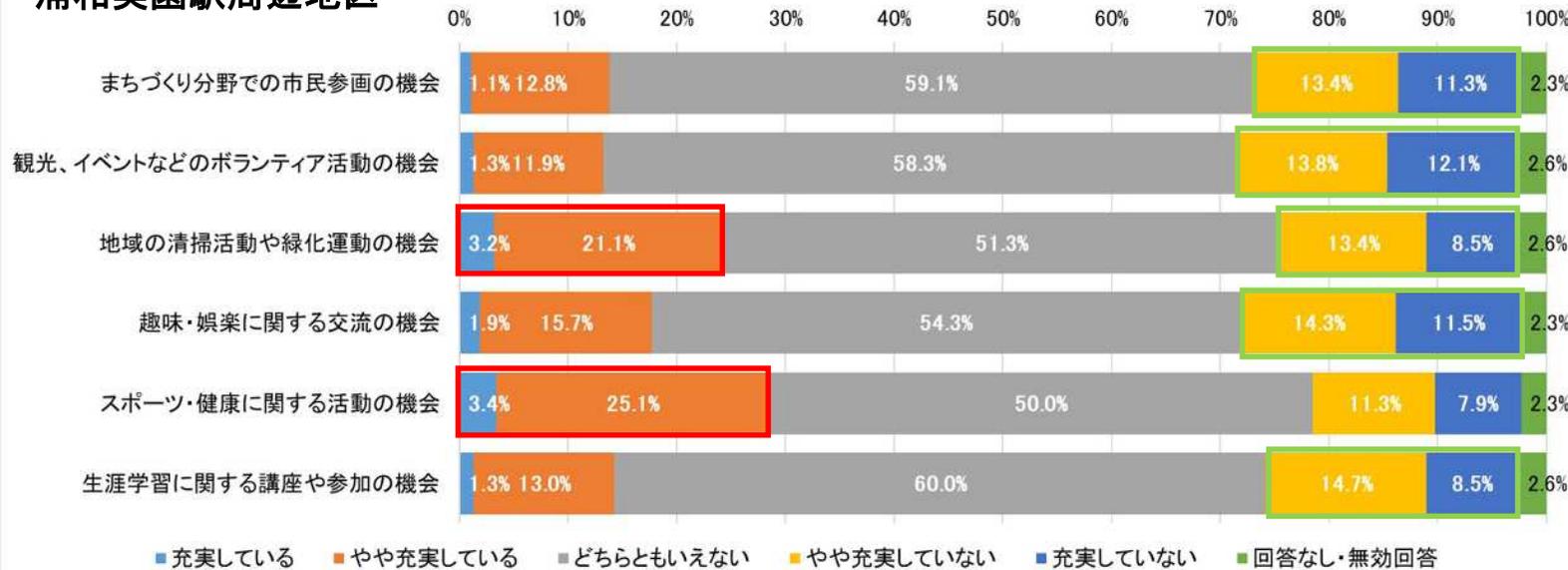
③ 住民意識アンケート調査結果

地域交流等について

《お住まいの地域で開催されている地域交流や市民参画の機会について、どの程度充実していると感じますか。》

浦和美園駅周辺地区

地域交流・市民参画(浦和美園駅周辺)



浦和美園駅周辺

各項目について、どちらともいえないとの回答が多く、評価が分かれています。

○ 充実度が比較的高い項目

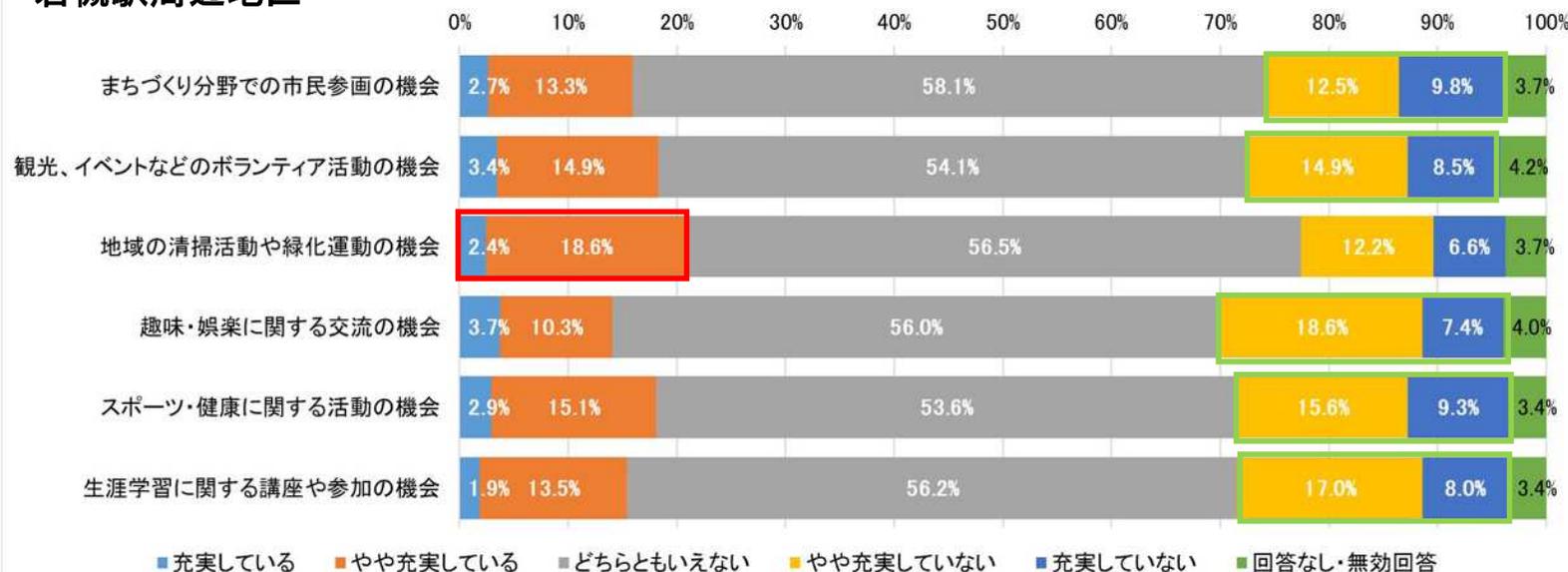
- ・地域の清掃活動等 (24.3%)
- ・スポーツ・健康の活動 (28.5%)

○ 充実度が比較的低い項目

- ・まちづくりに関する参画機会 (24.7%)
- ・観光、イベントボランティア (26.0%)
- ・地域の清掃活動等 (21.9%)
- ・趣味・娯楽の機会 (25.7%)
- ・生涯学習の講座等の機会 (23.2%)

岩槻駅周辺地区

地域交流・市民参画(岩槻駅周辺)



岩槻駅周辺

各項目について、どちらともいえないとの回答が多く評価が分かれています。

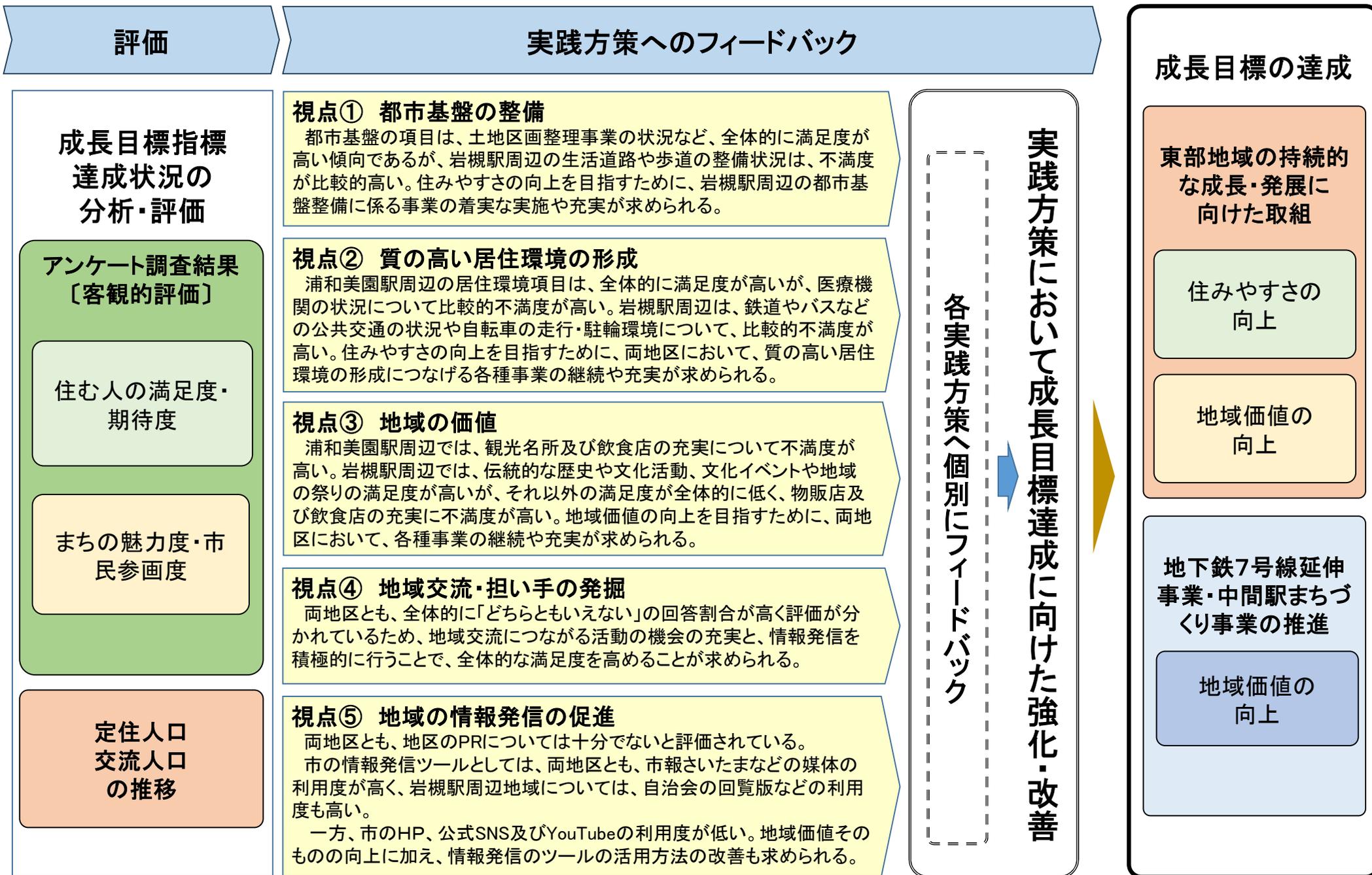
○ 充実度が比較的高い項目

- ・地域の清掃活動等 (21.0%)

○ 充実度が比較的低い項目

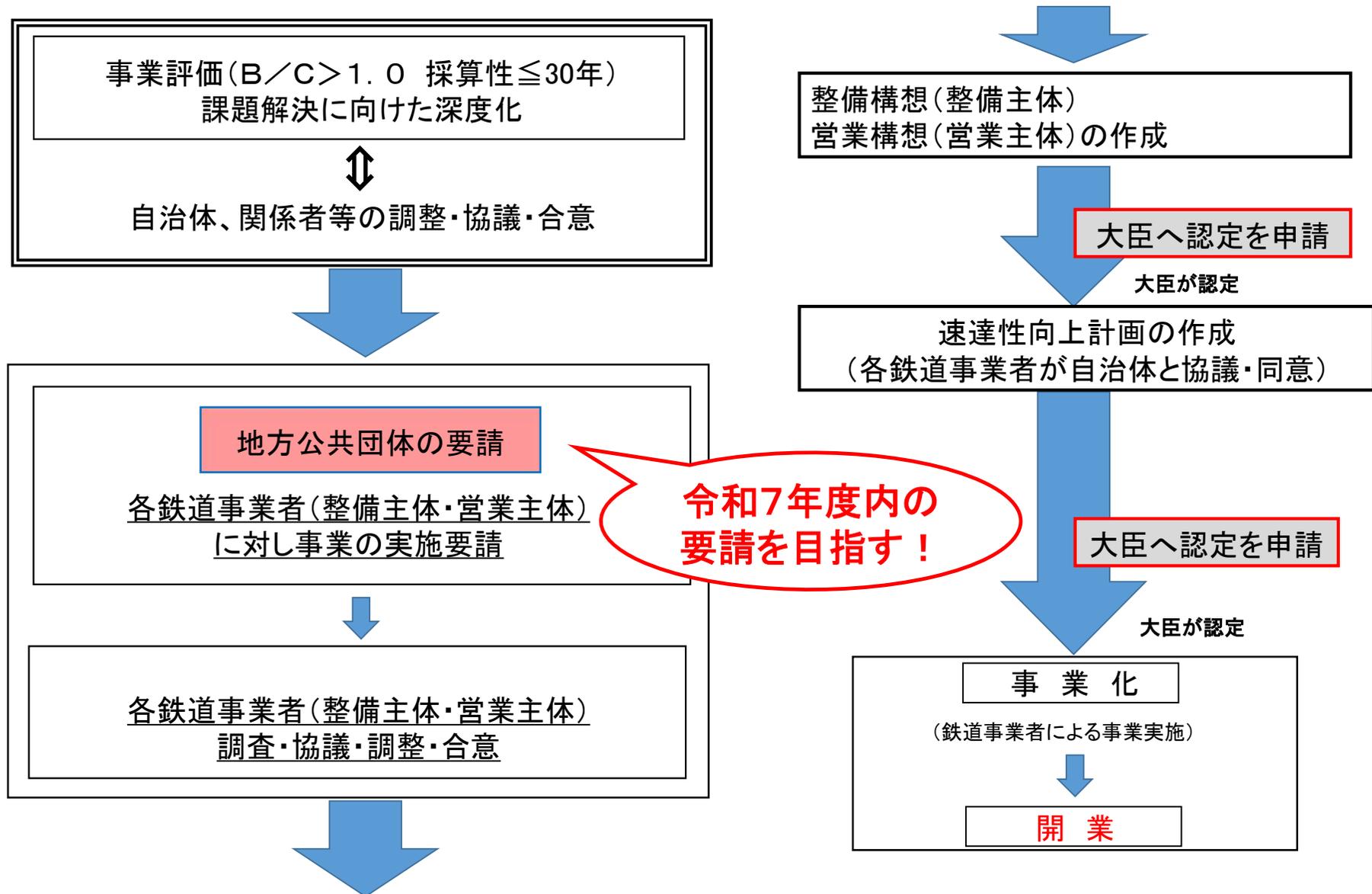
- ・まちづくりに関する参画機会 (22.3%)
- ・観光、イベントボランティア (23.3%)
- ・趣味・娯楽の機会 (26.0%)
- ・スポーツ・健康の活動 (24.9%)
- ・生涯学習の講座等の機会 (24.9%)

(2) 令和6年度の実績及び実践方策へのフィードバック



(3) 地下鉄7号線延伸事業の取組状況について

■地下鉄7号線延伸の手続きの流れ



(3) 地下鉄7号線延伸事業の取組状況について

■ 地下鉄7号線延伸事業の直近の取組

3/25 地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)延伸連携会議の設置・開催



事業の早期着手に向け、各関係者間の協議及び連絡調整を緊密にハイレベルで行うため、副知事・副市長が構成員として参画する会議を設置し、第1回を令和7年3月25日に開催。

4/8 埼玉県知事、さいたま市長による意見交換



4/14 国土交通大臣への要望



■ 地下鉄7号線延伸事業の今後の取組予定

主な検討項目	
概算事業費	➢ 最新単価の反映
中間駅まちづくり	➢ まちづくりの規模・計画人口の精査、中間駅まちづくり方針の改定
需要予測	➢ JR東日本における運賃改定状況の反映
収支採算性	➢ 物価上昇に伴う人件費、経費等の経年的な上昇率に関する検討 ➢ 事業収支に係る収支計算条件(借入条件、金利等)の精査
計画のとりまとめ	➢ 整備計画、収支計画、運行計画等のとりまとめ ➢ 速達性向上事業に関する資料の作成

(4) 地下鉄7号線中間駅周辺まちづくり事業の取組状況について

■ 中間駅周辺まちづくり事業における規模拡大の検討状況

<現地の地形、現況土地利用について>



新駅を想定する目白大学周辺の状況

まちづくりを考慮する上で、新駅を想定する目白大学周辺において、徒歩圏の範囲で周辺の土地利用の状況を考慮すべき点は、以下のとおりとなる。

● 既存家屋などの建ち並びについて

- ・市街化調整区域でありながら、既存家屋の密集や、小規模な工場や寺院なども点在している。

● 地形について

- ・目白大学付近は、標高8m以上の台地部が概ね占めているが、所により、低地部も入り組んでいる。

● 既存道路、周辺事業について

- ・南北には、県道蒲生岩槻線、東西には、新方須賀さいたま線の幹線道路がある。
- ・核都市広域幹線道路は、首都高埼玉新都心線から東北道(浦和IC・岩槻IC)付近へ延伸が検討されていることから、広域道路ネットワークとして、当地区の大幅な交通利便性向上が見込まれる。
- ・2月に産業集積拠点の新たな候補地区が近接する地域に示されたことから、中間駅まちづくりにおける産業との連携も期待される。

中間駅周辺まちづくりの規模は、この周辺土地利用状況や近年の駅周辺開発の事例、周辺住民・民間事業者ニーズなどを踏まえ、中間駅を中心に徒歩圏の範囲を基本とし、最大120ha程度の広さで、定住人口10,000人程度の規模とし、今後検討を深度化する。

※今後、現地調査や地元意見聴取などにより、精査していくことが必要。

(4) 地下鉄7号線中間駅周辺まちづくり事業の取組状況について

■ 中間駅まちづくりのコンセプトイメージ

『人とグリーンのウェルネスタウン』

—自然環境を活かしたミクストユースのまちづくり—



《重点戦略イメージ》

3つの重点戦略イメージにより、導入機能や空間整備方針の深度化を行い、未来の快適な都市を形成し、選ばれるまちを目指す。

先進的な**環境空間**を創る

- グリーンインフラの推進
- 駅前オープンスペースを活用した防災拠点化
- ウォークアブル・サードプレイス

まちとともに**人**を育てる

- 職住近接の多様化に対応
- 子育て環境の充実
- エリアマネジメント

先進技術をまちにストックする

- 企業が先進技術を実践する場をつくる
- 未来のモビリティ実現の場
- 目白大学等との企業連携

地域の自然環境を活かしたグリーンインフラの取組を推進し、人々の生活だけでなく自然環境の健康・健全さを実現する。また、街に集う人・企業・社会が共創し、様々な機能を集約することで新たな価値を生み出す街を目指します。

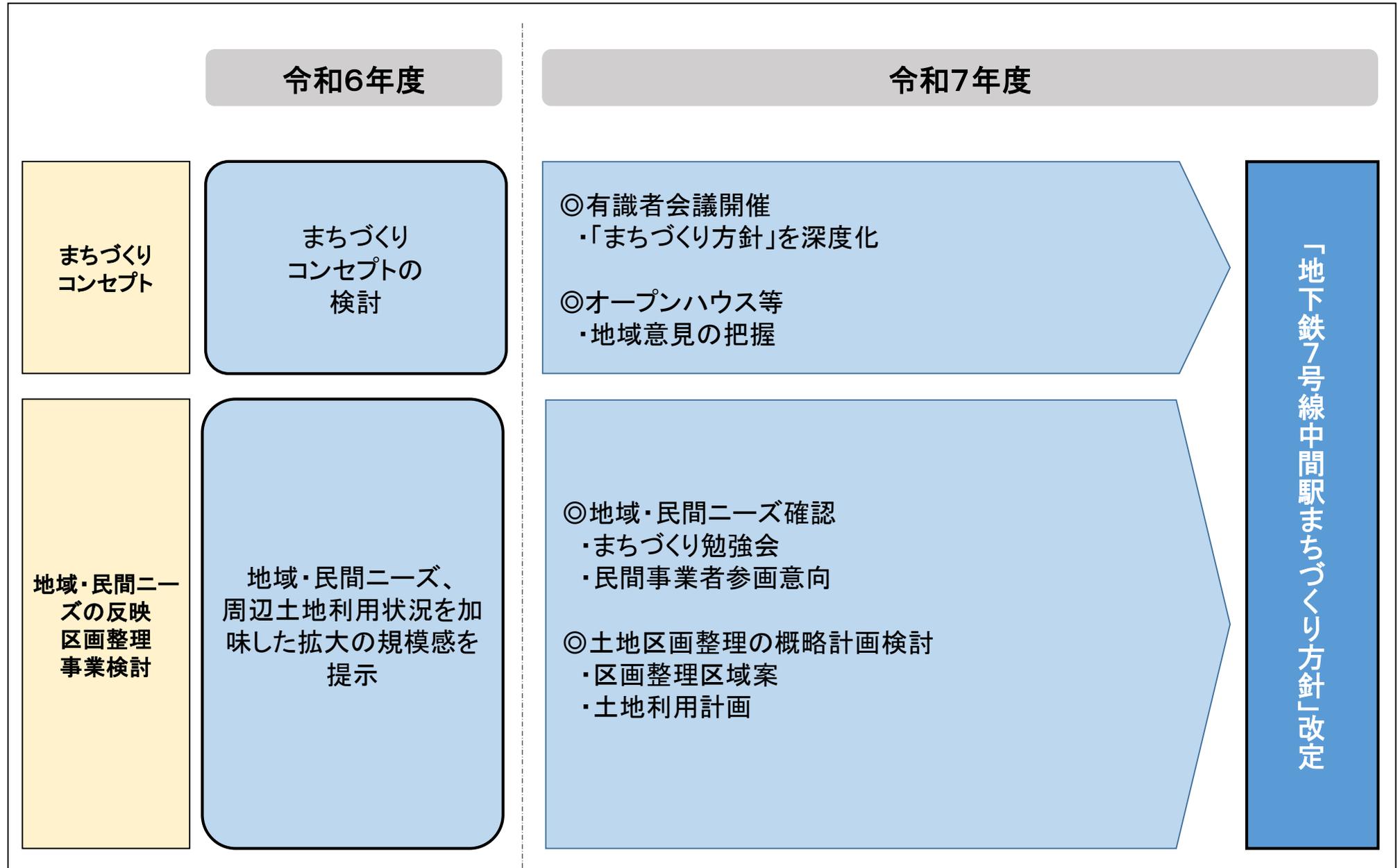
令和7年度に有識者会議を開き、「地下鉄7号線中間駅まちづくり方針」の改定を行う

■ 地下鉄7号線中間駅まちづくり方針有識者会議の構成

氏名	所属	専攻
久保田 尚	埼玉大学 名誉教授 日本大学 客員教授	都市交通計画、地域交通計画など
大沢 昌玄	日本大学 理工学部土木工学科教授	都市計画、都市交通計画、区画整理
上田 真弓	石黒技術事務所マーケティングコンサルタント UMリサーチ&コンサルティング合同会社代表	まちづくり・マーケティング
飛田 満	目白大学 社会学部長 社会学部地域社会学科教授	SDGs・地域連携
福岡 孝則	東京農業大学 地域環境科学部 造園科学科 教授	グリーンインフラ、ランドスケープ・都市デザイン
磐田 朋子	芝浦工業大学 副学長 システム理工学部 環境システム学科 教授	再生可能エネルギー、省エネルギー、 環境システム工学

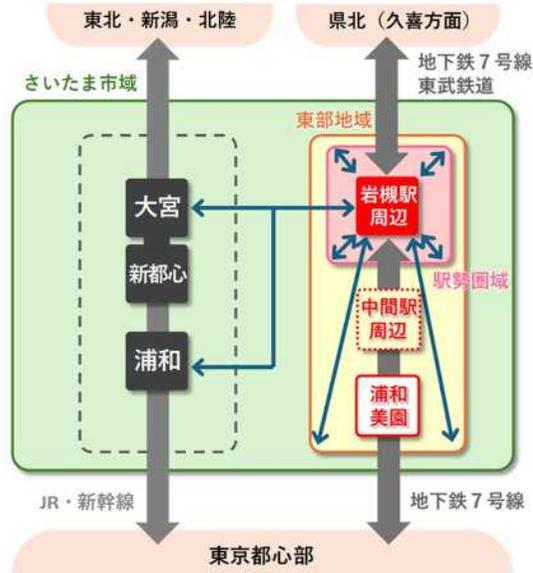
(4) 地下鉄7号線中間駅周辺まちづくり事業の取組状況について

■ 中間駅周辺まちづくり事業の今後の流れ



(5) 鉄道延伸による結節点としての岩槻駅周辺のまちのあり方の検討について

■ 岩槻駅周辺地区のまちのあり方の検討の背景



● 地下鉄7号線延伸による、新たな南北都市軸の形成

- ・地下鉄7号線延伸により都心に直結する鉄道都市軸が新たに形成されることで、市東部地域のポテンシャルが高まる。
- ・浦和～大宮の都市軸とは独立した都心直結の都市軸が形成されることで、災害時の市の都市機能の持続可能性が高まる。

● 沿線としてのブランディング向上

- ・岩槻駅周辺地区は、美園地区や今後実現する中間駅まちづくりとの連携により、沿線での魅力を高める重要な地区となる。

■ 庁内会議での意見を踏まえた課題の洗い出し

- 地下鉄7号線延伸のインパクトを踏まえた、まちづくりの検討 / ● 広域的な視点からの、地区の役割、都市機能、基盤整備の検討
- 台地、緑の多さなどの特性を踏まえた、環境や防災の視点からの施策の検討 / ● 岩槻駅東西口の連携を生む、まちづくりの検討
- 副都心としての位置付けを踏まえた、業務・商業機能の強化 / ● 立地適正化計画と連携した、必要な都市機能の誘導強化
- 地下鉄7号線開業前からの、先行的な都市計画見直し / ● 「岩槻らしさ」や「地域資源(人形・文化)」を活用した、ソフト施策検討
- 鉄道結節化を踏まえた、公共交通との連携、自転車の走行環境改善、ウォークアブル空間の確保、駅へのアクセス性向上

■ 岩槻駅周辺のまちのあり方の検討の方向性について

- 結節点となる岩槻駅周辺が担うべき広域的な位置付けを踏まえ、まちのあり方を検討する。
- 岩槻の伝統文化を活かしつつ、地下鉄7号線延伸によるポテンシャル向上を踏まえ、ハード・ソフト両面から必要な施策を検討する。
- 鉄道結節化のインパクトを受け止めるため、市の既存施策や庁内意見に加え、外部の専門的・多角的な視点からの大胆な議論も必要。

令和7年度に開催する有識者会議での意見を基に、ワークショップ等での地域意見を踏まえ、提言として取りまとめ、「まちのあり方ビジョン(提言)」とする

(5) 鉄道延伸による結節点としての岩槻駅周辺のまちのあり方の検討について

■今後の議論のたたき台

○検討すべき事項

①岩槻駅周辺の再整備

交通結節点としての利便性(東武、SR、バス)、滞留空間としての駅前広場、ウォーカブルな街の玄関口としての機能(駅出口の配置、東西交通の円滑化)、景観形成など

②土地の有効活用

東口駅前既存市街地の再編成および都市計画制限見直し、本町3丁目駐車場跡地の活用、西口区画整理地内の未利用地の活用、鉄道延伸に伴う居住ニーズへの対応、副都心として必要な都市機能誘導など

③交通ネットワークの整備

公共交通の再編、自転車ネットワーク、駐輪場、乗換による動線・回遊性、シェアサイクル、新たなモビリティなど

④観光振興の充実

通過でなく滞在型の観光の推進、岩槻の認知度向上に向けた発信など

○施策イメージ

- 交通結節点としての乗り換え戦略の検討
- まちの玄関口としての東口駅前広場再構築
- 駅前オープンスペースや緑地等の滞留空間の確保
- 岩槻駅東西の交流促進のための動線確保

- 用途地域等の都市計画の見直しによる計画的な開発誘導
- 容積率の有効活用
- 立地適正化計画を活用した都市機能の誘導
- 未利用地の有効活用
- 防災都市づくりの推進 / ●景観・まち並みルールの設定

- 公共交通との連携による駅へのアクセス確保
- 自転車走行空間の確保
- ウォーカブル空間の確保
- 多様なモビリティサービスの導入検討

- 人形・歴史文化を活用した更なる観光施策の充実
- 岩槻の認知度向上に向けた、地域の魅力の情報発信
- 文化財の保存
- 地域まちづくりの担い手発掘・育成

■岩槻駅周辺まちのあり方ビジョン検討有識者会議の構成案

氏名	所属	専攻
大沢 昌玄	日本大学 理工学部 土木工学科 教授	社会基盤(土木・建築・防災)、社会システム工学、社会システム工学・安全システム
内田 奈芳美	埼玉大学 人文社会科学部 教授	社会基盤(土木・建築・防災) / 建築計画、都市計画 / まちづくり、都市論、都市政策、ウォーカブルなまちづくりの理論・事例研究や実験
新 雅史	流通科学大学 商学部 マーケティング学科 准教授	コミュニティの社会学、スポーツ社会学、商店街研究
小林 裕和	國學院大學 観光まちづくり学部 観光まちづくり学科 教授	観光まちづくり

浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議

委員名簿

(R7.4.1時点)

No.	役職	所属	職名	氏名	備考
1	座長		市長	清水 勇人	
2	副座長		副市長	日野 徹	
3			副市長	高橋 篤	
4			副市長	新屋 千樹	
5	委員	都市戦略本部	本部長	佐野 篤資	
6		財政局	局長	田中 俊匡	
7		市民局	局長	丸屋 美智代	
8		スポーツ文化局	局長	石塚 正歳	
9		子ども未来局	局長	安部 健一	
10		環境局	局長	大塚 一晴	
11		経済局	局長	金子 芳久	
12		都市局	局長	佐藤 久弥	
13		建設局	局長	斉藤 稔	
14		見沼区	区長	吉田 亀司	
15		緑区	区長	増田 泰則	
16		岩槻区	区長	小柳 昌彦	
17		教育委員会	副教育長	栗原 章浩	